

2022 年度  
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	遠西 大輔
研究機関名	岡山大学病院
所属部署名	ゲノム医療総合推進センター
役職名	研究教授
研究課題名	ハイブリッド遺伝子変異の全貌解明に基づく次世代がん精密医療の開発
研究実施期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

**研究成果の概要**

本研究では、腫瘍の細胞内外シグナルを同時に制御するドライバー遺伝子変異である「ハイブリッド遺伝子変異」の全貌解明を目指す。フェーズ 1 ではドライバー遺伝子変異陽性の腫瘍検体を用いて、単一細胞マルチオミクス解析と四次元単一細胞マルチオミクス解析を実施し、**ハイブリッド遺伝子変異の分子生物学的性質**を解明する。

2022 年度は、悪性リンパ腫の中でも最も患者数の多い Diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL) を対象とした、大規模オミクスデータの構築を行った。まず、**DLBCL 多数症例の遺伝子発現・変異プロファイル**を解析し、新規ハイブリッド遺伝子変異の候補を複数同定した。現在、シングルセル・マルチオミクス解析を DLBCL の前向き収集検体で実施し、遺伝子変異とタンパク発現の 1 細胞レベルでの関係性と、それが微小環境細胞の挙動に与える影響を解析中である。